

組織名：協同組合 I T 経営総研

1. 中小企業金融公庫との連携実績（～2007 年度まで）

・連携支店名：大阪支店

1) 研修開催における連携

年・月	スポンサー	主催機関名	参加者数	内、有料契約社数
2006.2	IT 経営応援隊事業	関西情報・産業活性化センター 産業、中小公庫大阪支店	21 社 21 名	-
2006.10	IT 経営応援隊事業	大阪府経営合理化協会、中小公庫大阪支店	15 社 17 名	-
2007.10 (予定)	IT 経営応援隊事業	関西情報・産業活性化センター 産業、中小公庫大阪支店	13 社 17 名	
< 成果に関する組織としての評価や具体的な成功企業についてのコメント > ・ 具体的成果なし：研修会後のフォローが弱い				

2) その他の連携（あれば）

< 連携の内容について > ・ 大阪西支店のユーザ研修会へ企画提供 2006.8.24：昭和電機見学会 2007.3.12：東海バネ工業見学会 2007.8.21：職員向け研修会（事例から学ぶ）

3) 中小企業金融公庫側の対応と評価について

< 中小企業金融公庫側の連携先キーマンと窓口担当者 及び評価（想像） > ・ 大阪支店：熊田支店長・金森副長 今年度就任された熊田大阪支店長は、名古屋で IT 経営応援隊事業を経験されているため、事業への理解があるが、金森副長は業務を KIIS へ丸投げである。しかし、本年度研修会では、各支店への橋渡しとしては動いていただき、定員を確保できた。 ・ 大阪西支店：光谷支店長 ITC であり、融資先の経営改善への関心は高い。また、職員のスキル向上にも積極的に取り組む姿勢を感じる。
--

4) 担当 I T C と役割

I T C 名	インストラクター（メイン or サブ）	役割（コンサル担当等）
堤 裕司	インストラクター（メイン・サブ）	インストラクター 研修時のグループ演習支援 企業訪問・企画書作成指導
森下 勉	インストラクター（メイン・サブ）	
吉田 東良	インストラクター（メイン・サブ）	
他 6 名	インストラクター（サブ）	

2.2008 年度以降の中小企業金融公庫との連携計画について

1) 研修開催における連携の計画・目標

< 具体的な計画・目標があれば >

- ・ 2007.10 より経営者研修会実施予定。2 社個別支援につなげる。
- ・ また、上位研修として「C I O 育成研修」を取入れることで、より具体的な案件が抽出できるようにする。

2) その他の連携

< 具体的な計画があれば >

- ・ 西支店の職員向け研修会(2007.8.21 実施)を継続的に年 2、3 回実施予定。
- ・ 昨年度に引き続き、西支店において「成功企業見学会」を実施する予定。
- ・ 西支店が主幹となって各支店の経営指導職員向け研修を実施予定。
- ・ 他の支店との関係性も構築して行きたい。

3.中小公庫との連携をより進めるために

1) 貴組織が考える「中小公庫との理想の連携の姿 (To Be モデル)」とは？

< 具体的にコメントをお願いします >

- ・ ユーザ経営者向けには「経営者研修」「C I O 研修」による底上げと「企業見学会」による動機付けの 2 本立てをベースとし、支店職員向け研修を実施しユーザ支援体制を確立する。
- ・ ITC は個別ユーザ企業を支援する一方で、支店職員のユーザ支援をサポートする。
- ・ 参加企業 (参加者) のレベルに応じた研修プログラム。

2) 実現のための重要成功要因 (CSF) と K P I は何ですか？

< 具体的にコメントをお願いします >

【CSF】

- ・ 参加企業レベルの底上げ
- ・ 支店職員のレベル向上
- ・ プログラムの多様化

【KPI】

- ・ 研修会参加企業への個別訪問
- ・ 支店職員研修会の参加者数
- ・ レベル別研修、成功事例等

3) 貴組織が抱える問題点、他の組織や協会への要望等

- ・ 研修会参加企業 (参加者) のニーズが的確に判断できていない。課題を提出させるための個別訪問はやめて、個別訪問が必要な (ニーズのある) 企業を絞り込む。
- ・ アンケートや企業の取組み等から、事前に成熟度を判定できるようにし、成熟度に応じた支援ツールの開発が必要である。

以上